

会津美里町では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めにより、町長と教育委員会が緊密に連携し、地域の実情に応じた教育行政を推進するため、会津美里町総合教育会議を開催しています。

この会議では、次に掲げる事項について協議するとともに、町長と教育委員会の事務の調整を行っています。

1. 教育、学術及び文化の振興に係る大綱の制定
2. 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
3. 児童生徒及び幼児の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

令和 6 年度

第 1 回会津美里町総合教育会議 議事録

令和6年度第1回会津美里町総合教育会議

I. 日 時 令和6年11月13日（水）午後1時00分

I. 場 所 会津美里町役場 本庁舎 大会議室

I. 出席者 町 長 杉 山 純 一

教 育 長 歌 川 哲 由

教育長職務代理者 小 関 れい子

委 員 山 内 一 枝

委 員 武 藤 文 男

(陪席者)

副 町 長 佐々木 吉 一

I. 事務局 (町部局)

政 策 財 政 課 長 渡 部 雄 二

政策財政課長補佐 立 川 昇

(教育委員会部局)

こ ども 教 育 課 長 大 竹 淳 志

生 涯 学 習 課 長 小 林 隆 浩

こども教育課主幹兼指導主事 小 野 泰 弘

生涯学習課主幹兼課長補佐兼公民館長兼図書館長 長 峯 啓 之

こども教育課長補佐 國 分 政 和

学校経営アドバイザー 長 嶺 吉 浩

令和6年度第1回会津美里町総合教育会議次第

1 開会

2 あいさつ

3 協議

(1) 会津美里町ふれあいの森公園等整備利活用基本構想について

(2) その他

4 その他

5 閉会

○開会時刻 午後 1 時00分

1. 開会

こども教育課長 それでは、定刻前ではございますが、皆さんおそろいになられましたので、令和 6 年度第 1 回総合教育会議、進めさせていただきたいと思います。

なお、本日、鈴木委員におかれましては、所用がございまして、欠席のご連絡いただいております。

それでは、町長よりご挨拶をよろしくお願いいたしますと思います。

2. あいさつ

町長 皆さん、こんにちは。令和 6 年度の第 1 回の総合教育会議ということで、教育委員の皆様にはご参集を賜りまして、誠にありがとうございます。日頃から教育行政につきましてご指導いただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。

今年の第 1 回目ということで、忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。今日は協議として 1 件だけございますが、皆さんからご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

こども教育課長 ありがとうございます。

それでは、早速 3 番の協議に入りたいと思います。

町長の進行でよろしくお願いいたしますと思います。

3. 協議

町長 それでは、早速協議に入らせていただきます。

会津美里町ふれあいの森公園等整備利活用基本構想についてご協議したいと思います。説明お願いいたします。

政策財政課長補佐 (1) 会津美里町ふれあいの森公園等整備利活用基本構想について(資料により説明)

生涯学習課主幹兼課長補佐兼公民館長兼図書館長 (1) 会津美里町ふれあいの森公園等整

備利活用基本構想について（資料により説明）

町長

今ほど基本構想について、検討会を2回、それと分科会4回、住民説明会、ワークショップ等々進めた内容説明をしていただきました。

委員の皆様方から聞いてみたいというようなことがありましたらご発言いただければというふうに思います。

教育長

1つよろしいでしょうか。説明がありました資料1の中身でありますけれども、11月10日に住民説明とワークショップを開催したというご報告がありましたけれども、その際どんなご意見が出たとか、中身等について、もしお聞かせいただけることがあればお聞かせいただきたいと思います。

政策財政課長補佐

11月10日もやりましたが、10月15日にも委員の皆様のワークショップを実施しましたので、同じような意見が出ているということでご承知おきいただきたいと思います。

まず、スポーツ分科会の意見にありましたとおり、ふれあいの森の改修という意見がございました。

それから、スポーツ合宿の誘致をしたらいかかというところは、10月15日も11月10日も両方から出ております。ふれあいの森を活かした合宿プログラムを開発したらいいのではないかなという意見でございます。

それから、スポーツイベント、長距離だけではなくて、そのほかのスポーツイベントなどもやってはいかかという意見もございました。中にはグラウンドゴルフなんかはいいのではないかなとか、ウォーキングももう少し違うものもという意見もございました。

それから、周辺、町民や周辺エリア住民の方の利用の促進もしていいかがかと。例えばマラソン等の練習をするためにほかのところから有名な選手が来たならば、その方々との交流なんていうのもいいのではないかなとか、それから面白いのは、会社帰りにランをしてサウナに入ったらどうかとか、そういうような意見もございました。

それから、組合せの体験プログラムとしまして、食とスポーツの融合などというご意見もありました。これは、例えばよく出てくるのは勝ち飯といいまして、スポーツアスリートのための食事の提供をちゃんと勉強して、科学的に理にかなったものを提供するような、そういうものもいかかというような意見がございました。

それから、公園のほうは楽しみに来る方もいらっしゃるということで、癒やされて健康を回復するような活動ができる環境もつくったらいいのではないかと。例えば子供たちの体を思いっきり動かすことができるような遊び場とか、それから健康増進と温泉を組み合わせとか、足湯、グランピングと

か。なかなか全てができるものではないので、この辺につきましてはご理解いただきながら、意見としていただいたところでございます。

それから、ヘルスツーリズムの推進などいいのではないかと。ヘルスツーリズムといいますのは、健康を取り戻すような、リフレッシュすることによって健康を取り戻していくような観光旅行がこのヘルスツーリズムに当たります。それにつきましてもふれあいの森が使えるのではないかというような意見がございました。

それから、今までも町も取り組んできたワイナリーを活用した、ワインツーリズムも取り組んでいってはどうかなという話もありました。特に夜のワイナリー体験はいかがかと、以前実施したワインブドウを朝摘んで、その後朝食を食べるようなツアーも、あれよかったねというご意見もありました。

それから、食と健康の関連プログラム、こちらも先ほどと同じように勝ち飯とか、新鶴のお母さんが作る健康食というのでもいいのではないかというご意見もございました。こちらは地域の参加がないとできませんが、そういうようなイメージがあるということで承っております。

それから、施設を使った連携プログラムなんかもございました。例えば自転車の発着場にして、あそこのアップダウンのある起伏を使った自転車のレースではないのですけれども、そういうものをできないかというような話もありましたし、プロモーションを充実していきましようということで、お土産を開発してはどうかなど、いろんな意見をいただきました。

これらの意見は、先ほど申し上げましたが、全ての意見はすぐに実現できるものでもございませんので、今後基本構想を基に実施する主体において検討する材料にさせていただきたいと思っております。

以上です。

町長 ありがとうございます。
よろしいですか。

教育長 はい。ありがとうございます。

町長 委員の皆様から何かございますか。

委員 今の関連で、11月10日の地区の説明会の参加者というのはどのくらいだったのかなと思うのですが。

政策財政課長補佐 地元の方11名参加していただきまして、内訳、持っておりませんが、新鶴の方が多かったものでございます。

委員

ありがとうございます。

町長

委員の皆様には急に出てきた話と感じていらっしゃる方もおられると思うのですが、私就任して4年目になりますが、その間町内いろいろ各地域に特性があって、その特性に合った町の振興を考えていかなければいけないのではないのかなというふうに思っていました。

新鶴の運動公園、400メートルのトラックを持っている市町村ってあまりないですよ。前の村長さんが陸上競技の選手だったということもあって、そんな思いを込めて造られた競技場だというふうに思っています。前は、郡のいろいろな大会とかやっていたけれども、マラソンもやっていて、それもなく、今ほとんど利用がないというのが現状で、もったいないなと思っていたのが一番です。新鶴地区を見たときに、ブドウ畑があったり、ワイナリーがあったり、運動施設も集中していますから、これ何かできないかなというのが一番で、あとは400メートルトラック。皆さんご存じのように、我が町、長距離に強いというか、土壌があって、そういった指導者の方々からも、うまくあそこを使ってやればいいなと、将来的には、全天候型がやっぱり条件だったり、いろいろあるのですけれども、まずはその環境を整えて、将来的に大学の合宿とかが来たり、大会ができたりとか、それが健康増進につながったり、スポーツの振興につながったり、観光の振興につながったりすればいいなという思いで、この構想が持ち上がってきたということです。まずは、やはりグラウンドを先に整備をしていきたいなと思っており、今説明あったとおりです。

何かありますか。

委員

まず、今私たち協議としては、グラウンドの整備ということが一番の重点になっておりますが、これを見させていただいたときに、健康、スポーツ、観光という形で大きな基本構想を立てたいとおっしゃっているわけですよ。そういう中で、競技場だけを取り出して、今これをどういうふうにするかだけではなくて、全体的な構想の中で考えていかないと、予算的なものもあるし、それから大学誘致や、その後の合宿とかいろいろ出てくると、競技場だけではなくて、どのような構想の中でやっていくかというところが、このワークショップの中でも、私たちと同じような意見が出たのかなというふうに思ったのです。競技場だけではなくて、全体としての観光と健康とスポーツが出てきているので、その辺についてお聞きしたいのですけれども。

政策財政課長

今委員のほうからグラウンドに特化するのではなくて、構想の中で観光とか健康とか、いろんなものを取り入れた中で整備していくべきではないかと

いうご意見かなと思うのですが、確かにそのとおりだと思ひまして、我々政策財政課のほうでふれあいの森の公園等整備利活用基本構想というものを今年度1年間かけてつくります。それにつきましては、ある程度長期のビジョンで、ふれあいの森の周辺を一体的に整備していきますという構想になるわけですが、町長が最初おっしゃられたように、グラウンドにつきましては、かなり損じている部分とかがありますので、そこについては構想の中でも先行して整備をし、観光、健康といった部分は、その後一体的に全体的な整備をしていくことになっていきますが、確かに予算的なものもございますので、分科会の中でいろんな意見が出ましたけれども、それについても一気にできるわけではございませんので、構想の中で財政状況を見ながら、優先順位をつけて整備をしていく考えであります。なかなか観光とか健康とかという部分はかなりざっくりしておりますので、今年度中に細かいところまで確定できるところまではいかないと思いますので、長期ビジョンで整備していきたいと考えているところでございます。

町長

よろしいですか。ということですね。財政的なものもあるので、これから計画をつくってやっていきたいということです。できるところから。造った方がいいけれども、何にもならなかったというのが一番困ったり、競技場に関して言わせてもらおうと、ほかでも、猪苗代町は400のトラックがあって、公認取っています。公認は取っていますが、なかなか利用は少ないみたいです。公認は、いろんな設備がありますね。ハードルだとか、マットだとか、いろいろ使う競技、これ2つずつ全部そろえておかなければいけないということがあるらしいのです。また、タータンは5年に1回は張り替えしなければいけない。それも五、六千万円かかる。であれば、我が町はその公認は要らないだろうと。公認に準じたようなものが1つあって、長距離に限らず、短距離だってできますし、広く利用することを考え基本的なものを含めて、まずそこからやっていこうということになったということです。

委員

そうすると、この競技場のゴール地点というのは一体どうなのかなと。どこを目指して、競技場の整備をどこまでやるのかということはどうなるのか。そこが全体像の中での競技場の在り方が決まってくるのではないかなと思うのですけれども。

生涯学習課長

今ほどご説明しました5ページですけれども、ここが理想の姿ということになります。分科会の委員さんからいただいた、陸上競技場、指導者とか競技者がこの競技場でトレーニングしてみたいとか、あとは指導してみたいというために、こういったところが理想としてあれば、合宿とか、そういうものも呼べるのではないかと、そういう意見になりますので、ただしこれもお金

という観点では、整備に当たっての事業費は考慮しているわけではありませんので、これが全てできるかというのはまた別な話なのですが、目標としてはこういったものの整備も取り組んでいきたいと思っています。ゴール地点だというふうに考えております。あとそれに合わせてテニスコートの修繕なども必要なかなとは思っています。

委員

なぜそういうふうに質問したかという、結局競技場だけでは健康とか、観光とかにはならないと思ひまして、例えばアスレチック広場なんかを見ると、ワークショップの中でもあるように、子供たちが遊べるようになってくると、ここに関わってくるのはトイレとか、それから管理棟の在り方とか、そういうようなところにも関連してくると思うのです。だから、競技場だけ整備して、例えば仮設トイレでいいかという、アスレチックに来た子供たちも、どのような形で若いパパやママたちが遊ばせられるのかといったときに、この競技場だけでなく、関連させていく必要が非常にあると、今はそういうものがすごく求められているときなので、競技場だけではなくて、全体的なものが関連して、トイレの在り方も、広場の在り方も、やっぱり人工芝だからって、そういうところも、第1回目のこの話合いで一番最初に感じたところはそこで、そこからどのようにこれから持っていくのかなというところをもう少しお聞きしたいと思うのです。何を言いたいかという、優先順位で、タータンの改修部分はやるかどうかというのは、スポーツ関係の分科会でしっかりと話されているわけですから、これについて私たちがどうこういうところでもないと思うのです。私たちが言えるところは、競技場の在り方がどういうふうにはほかの活動や、今ワークショップで出てきた住民の方々からも同じような意見出ているのだけれども、それとどういうふうに関連していけるのかというところですけども、議論の点をどこら辺にしていけばいいのかな、もう少し狭めていただきたいと思います。

生涯学習課長

今おっしゃるとおりなのですが、当然の話としまして、まずトイレについては、もっときれいにすべきだというのは当然出ていますので、トイレの改修は必要だと思われます。今後、分科会としてはある程度方向性は出ましたが、これはあくまで全体会で決める中身になりますので、こういったものを参考にして、全体会で議論する際に、当然トイレも必要ですし、あと例えば本当にこのアスレチック広場ですとか、奥のほうにバンガローなどもあります、そういったところも本当にバンガローが必要なのか、例えば別なものでもいいとか、そういったところも含めて、最終的には議論していく考えております。

教育長

私から1ついいですか。なかなか像が見えない中で、理想だけ話っても難

しいところはあるのですけれども、私、去年、おとしかな、岩手県に出張したときに、スポーツ施設として本当に特異なといいますか、スペシャルなスポーツ施設で大成功を収めた例というのをちょっと聞かせていただきまして、それは岩手県の紫波町なののですけれども、バレーボールしかできない体育館を造って、町の振興を図るために何を造ったらいいかっているいろいろ議論した中で、町のアドバイザーみたいになっている民間出身の方が中心になっているいろいろやったときに、例えば野球場って日本中にどのくらいあるか知っていますかと、陸上競技場ってどのくらいありますか、体育館どのくらいある、物すごい数あるわけですね。それがどこでもあるし、どこ行っても使えるしということで、でも本当に人を集めようと思ったらそういう施設ではしょうがないというふうな議論で、バレーボール特化型の体育館というのは確かにどこにもないのです。そんなの造ってどうなのだという議論をさんざんしたそうなののですけれども、結果的には今全日本級の大会とか、国際大会とか、何年も先まで予約が埋まっていて、そのたびに、日本中だけでなく、世界からも人が来て観戦しているというような、そういう成功例があって、なるほど、どこにでもないものを造るというのは1つメリットなのかなという、それは非常に思って、だからこれも、どこにでもある陸上競技場というよりは、確かに長距離特化型というふうなことができるのかどうか分かりませんが、多分どこに行ってもこんな陸上競技場あんまりないよなというふうなものがやっぱり1つは目玉としてあってもいいのかなと思うのですが、その上で、あと今委員がおっしゃったような町民とかがどんなふうに健康づくりとか、体づくりなんかに使っていけるのかというふうな、その両面から考えていく必要があるのかなとは思っているのですけれども。非常にその話を聞いたときに、すごいことやっているなというイメージはありました。

あと、我々教育委員会の守備範囲からいうと、基本的には学校教育の範疇プラス生涯学習、社会体育の部分ということになっていくと思うのですけれども、今進めている部活動の地域移行で、小学生も含めていいと思うのですけれども、陸上競技をやりたいけれども、専門の指導を受けられないとか、いい環境がないという子供たちは多分山ほどいると思うのです。そういう子供たちが、例えば平日は無理にしても土日だけでも、ふれあいの森に行けば、いい環境で、いい指導を受けて、例えば全ての競技、先ほど町長が、いわゆる公認取るような陸上競技場ではないような形にしていきたいというお話だったので、例えば短距離とか長距離とか、走るほうに特化したような何かクラブチームなり、あるいはクラブ衆あたりの総合スポーツ、NPOですか、クラブ衆がやっているような活動をあそこで子供たち相手に陸上の練習ができるとか、何かそんなふうな環境があってもいいなとも思いますし、実際

学校の中で陸上の専門的指導を受けられるかということ、まず受ける環境はあまりないのです。実際できる人が若干はいますけれども、体育の先生がみんな陸上の指導できるわけではないので。あとは、生涯学習からいえば、社会体育団体の活動拠点にどうなっていくのだろう。多分走るだけの社会体育団体ってあんまりないですよ。球技が多いですからね。あと、健康づくりの拠点となっていくという、ご老人も含めた、あとは今やっているウォーキングイベントが本当にあのままでいいのかどうか、陸上競技場のリニューアルに際して、例えばマラソン大会みたいなものに衣替えしていくとか、あるいはすばらしいものも、できるかどうか分かりませんが、ちょっとした、町長杯なりの冠大会の駅伝大会を誘致したりとか、つくったりとか、いろんなものが多分想像されると思うのですけれども、何か社会体育や子供たちの学校教育の範疇といいますか、部活動の地域移行なんかはどう利用できるかという視点も必要なのかなという意味で2つ目の意見を述べさせていただきたいと思います。

委員

地元新鶴地域で、あそこの400トラックができた当時から利用させてもらっていて、新鶴村の駅伝チームもあそこを拠点として練習続けてきましたし、その後会津美里町に合併になってからも、あそこを駅伝の練習場にずっと利用してきました。そのほかでは、地区としては、400トラックができた当時、新鶴ランナーズという小学生を対象にしたクラブチームをつくったのです。もう20年くらい続けて、今はもうなくなってしまいましたけれども、そこで活躍したメンバーが今も駅伝のメンバーで2人走っています。

町長

実業団とかで走っている。大学生とかね。

委員

はい。だから、そういう実績も今まで積んできましたし、ただ先ほど町長がおっしゃったように、今実際何に使っているかということ、地区の運動会くらいしか使っていないという、そんな利用の仕方になってしまっているの、今回の構想のようにいろいろ整備されていくのであれば、私は期待を持っています。ただ、この資料を見る限り、委員がおっしゃったように、やはり観光と健康をつなげて、新鶴地域を盛り上げるのだというのであれば、やはり最初に出てきた、関連したスポーツ施設、ワイナリー、温泉、そういったものをどんなふうにして全体構想を計画して、その中の一つとして陸上競技場がこんなふう整備されていくのだというのであれば、地区の人も将来像を描きやすいのだと思うのですけれども、それを、全体構想をつくる前に陸上競技場だけが第1案、第2案というふうにもう具体的にどんどん進むことが、その全体構想をつくり上げるときに何か足かせにならないのかなと思って、陸上競技場ができました、ではトイレは結局もう一つ

足りなかったもので、こっちに造りますとか、イベント広場が造りたかったのだけれども、それを造る予算はありませんとかって、そういうのにならなければいいなという心配がちょっと1つあるので。

あともう一つは、これ1つが高田地域、本郷地域、新鶴地域を同じように、平等にそういった活性化につなげましょうということで、今後、新鶴はこれを造りましょうということで、この後高田が旧公民館、それからあやめの湯をどんなふうにするか、その後本郷が、では旧小学校の跡地を公園整備、どんなふうにするかといったときに、予算がもうどんどん、どんどん膨らむと思うので、そうなったときに、順次造っていかうということで、こっちも複数年度で予算考えましょうといいながらも、競技場を造ったときにはもう予算がなくなってしまったなんていうことがないのかなというような、そんな心配もしているところです。

町長

その辺は財政、それは財政になるのですが、いつもそういう話でいうとだんだん膨らんでいくので、お金がありませんという話になってくるわけですが、今委員のほうから話があった高田地域の公民館跡地だったり、今町なか活性化に向けた協議会を立ち上げていますけれども、あそこはちょっと時間がかかるなと思っています。でも、やっぱり高田地域も考えていかなければいけない、本郷地域も考えていかなければいけない。旧本郷一小跡地はもうほとんど基本構想ができて、これから実施設計に入っていくという方向も定められたので、今まで、なくなってからもう大分たってしまっているもので、町としての優先順位からいくと、まず最初にやらなければいけないということで、一番進んでいます。あとは、新鶴地域もどうするかとなったときに、今話したように、やっぱりあそこだろうなというふうに思いがあって、そこに駅伝なんかもあったものですから、まずは競技場だという話をして、その中でも健康だったり、いろいろな観光振興にもつなげていくというような構想は持っています。ただ、全て入ってくると、そこだけに集中されて、お金だけがどんどん膨らんでいくので、そういったものはしっかりこれから固めながらやっていきたいなというふうに思っています。

政策財政課長

少し補足といいますか、今町長お答えになったとおりではございますけれども、今3地域同時にそういったプロジェクトが進んでおりまして、本郷については、旧一小跡地の整備ということで進んでおります。あと、高田については、ちょっと遅れてはおりますが、3地域の重点プロジェクトを令和6年度中に進めていく中で、全課長がそろった会議の中で、今年度についてはこれらのプロジェクトについて、おおむねこのぐらいの金額で進めていこうということで共通認識の下取り組んでおります。ふれあいの森につきましては、何回かご説明しておりますとおり、今年度、来年度についてはグラウン

ドを先行して取り組んでいきたいということで、これも経営戦略会議の中で情報を共有して、生涯学習課と一緒に進めているわけでございますけれども、やはり観光とか、健康とか、そういった本来大きな部分と連動させて進めていけばいいのですが、3地域で大きなプロジェクトが動いておりますので、全てふれあいの森できっちりとここからここまで整備をして、将来的にこのぐらいまでお金を使いましょうというところまでの議論はなされておりませんので、まずはやっぱり現行進んでいるそういった3地域の重点事業について、当面、ここ、目先の数年であればこのぐらいでやっていきたいと思いますということで今動いております。というのは、あと長期財政計画というのも今策定の準備をしております、それについては令和8年度からの大規模事業なんかを各課から意見を出していただいて、その計画の準備に入っているところでございますが、それでもあちこちから大きな事業が上がっておりますので、なかなかふれあいの森で現時点でこのぐらいまで使えますよというところがまだ見通せません。ただ本当にざっくりとした形にはなりますけれども、基本構想の中で、できるだけそういった見通せるものは、トイレの改修であったりとか、できるだけ、町民の方から要望があって、急いでやらなくてはならないようなものはその構想の中に盛り込んでいきたいと考えております。

委員

最初から何か厳しい言い方だったかもしれませんが、私、高田、本郷と新鶴、やっぱり好きで、結構ずっといろんなイベントとか全部回って、やっぱり美里愛も強いのですけれども、だから余計にそんな話もするのですけれども、インターネットで評価を見て、ふれあいの森のかな、この間見たら3.3だったのです。インターネットでの人気度は。そういう意味では、先ほど教育長さんおっしゃったように、特化することもあれば、また全体的な、アスレチックなども考慮しながら、結局今いる人たちではなくて、今小さい子供たちが入ってくるような、誘致というか、人をいっぱい呼ぶというところにも、大事なターゲットなのではないかなと思うので、何回か言っているのですけれども、行きたい場所に、行きたいな、何か遊ばせたいな、走りたいなというときに、あっ、あそこというふうに言える、行きたい場所にぜひしていく必要があるのかなってすごく思うし、本当に新鶴はたくさんの特産物もあるし、場所もあるし、すごい宝の山いっぱい持っているのだからってすごく思って、時々訪れているのですけれども、それを、今陸上競技場だけになっているけれども、ぜひ全体構想の中でどういうふうにしていったら今後生かしていくのかなというのは、お考えでいらっしゃるのですけれども、また苦しい状況の中にあるとは思っているのですけれども、私の役割としては、そういうようなことも、駄目もとでありながらお話ししているところです。お世話になります。よろしくお願いします。

委員

皆さん言われたことが私もずっと疑問に思っていた部分だったので。やはりこの基本構想ということなので、お示しいただいている資料も分かるのですけれども、本来であればもう少しエリアを広げて、今言われた健康、スポーツ、観光という分のワイナリー、広場、それからスポーツ公園、全てをもう少し分かりやすい絵図を作られたほうがまずいいのかなと。これを見ると、やはりどうしても資料があまりにもちょっと、これ資料と言えない感じかなと、残念ながら。もう少し分かるような形で明確にしてもらったほうが私はいいのかなと、それがグランドデザインになっていくのかなと。その中で今回は、第1の部分としてはこの陸上競技場を中心に呼び寄せる形だと思いますので、そこにやっていくというふうな形で、せっかくいろんな委員の方も入っていらっしゃいますので、そこを含めて、温泉、宿泊施設もあって、こういう位置関係があって、その中の中心軸に陸上競技場があって、そこを整備していくのだというふうな、まず第1段階としてという形で、グランドデザインの流れをつくっていただいたほうがいいのかなと思いました。そうしないと、どれだけの計画期間が、これから将来的に相当な期間、これ全部出来上がるまでは10年ぐらいかかりますかね。かかりませんか。5年ぐらいいですか。5年ではちょっと整備も難しい。どうですか、町長。

町長

大会を開くまでは難しいと思うのですけれども、ただそういったものも呼べるようなものという感じで、それにはあそこの新鶴地域の競技場だけではなくて、ワイナリーがあったり、農園があったり、これ一つの魅力ですよ。だから、例えば健康といったって、競技場だけ歩くだけではなくて、あの地域を回れるようなものになれば非常にいいわけですから。

委員

だから、新鶴インターもありますので、ほかのエリアから来ていただけるという部分ではすごく格好の場所だと思うのです。ですので、これからワインの木を植えると、そうやってお金を集めてもいいでしょうし、様々なことが提案できるのかなと思うのですけれども、そのときに、これだけだとその部分だけになってしまって、もう少し広げていただいて、グラウンドでない、考えていただけるとありがたいかなと、その中の第1弾として、まずはこの資料のふれあいの森の構想が進むという部分かなと思っています、根底の中には。さっき教育長が言われたバレーボールに特化した体育館、私は存じ上げていなかったのですけれども、本当に陸上競技に特化したという部分では、他に見ないものを本当にとことんやらないといけないのかな、かえって中途半端ではなくて。予算が許せばの話なのですから、やっていただければいいのかなと。

町長 予算が許せばの範囲でないとできないのですが、その中でも、やっぱりほかにはないというものがあれば、トップ選手が来るのです。

委員 そうですね。

町長 トップ選手が来ると、それについていろんなものもついてくる。そこも狙いの一つではあるのですが、ですから今ちょっと特化したというか、長距離に特化した競技場になろうかとしていますけれども、今全国でもないのです。

委員 ではいいではないですか。

町長 1か所ぐらいあるらしいのですけれども、それに近づけるようなものに、競技場だけ考えれば、そうしていきたいと思っていますし、あとはやっぱり先生方おっしゃるような、その周りも含めた中でそこにつながっていけばいいのかなということで、これからいろいろとやっていきたいと。

委員 大変でしょうけれども、1次計画、2次計画とあるのでしょうかけれども、全体のプランがあって。

町長 やっぱりいい地域なのですよ、あの地域って。本当に私も改めて見てみると、ほかの、高田、本郷にはないものもある。ただ、新鶴地域は商店街も特別なし、だから今のところ、合併しても、新鶴地域に対するものってなかったのです。やっぱり合併しないほうがよかったなんていう声も出てくるのです。さっき言ったように、それぞれの特性を持ったものをこれからやっていきたいということで、あそこですよ、新鶴は。

ほかにございますか。この件に関してはよろしいですか。

教育長 郷土資料館もできてますし、活動できる、すばらしいなって思います。

町長 そうですね。あそこもせっかくできましたので、もうちょっと人が回ってもらえるように。いいですからね。

教育長 9月にふれあいウォーク実施しまして、1,000人くらいの方おいでになったのですけれども、またそのときに私すごく印象的だったのは、大体皆さん歩き終わって、小雨降る中、ぬれて帰るときに、駐車場の辺りでご婦人方の集団が、今やっていない物産館の看板を見て、あっ、あそこ寄っていかなければってみんなであつと殺到するのです。すみません、今それやっていま

せんからといって、ええっなんて言っていましたけれども、人が集まればそういうことが起こるということだから、どうにか人を何とか集める算段をまずする。そしたら、そういういい流れも起こってくるのかなと。そういう人はみんなそういうところを求めて多分いるのですよね。歩きに来て、走りに来て、帰りにお土産ってやっぱりあるではないですか。そういうふうな流れをどうつくっていくかというのは大事なのだなとこの間つくづく思われました。

委員 物産館には私時々行くので、物産館、あつ、開いているとあって、結構昼食なんかやっていたときもあるのですよね。サラダとか。

町長 そばとかね。

委員 そばもあるし、イタリアンではないけれども、何かいろいろあったと思います。いろいろ手作りのものを売っていたりしたときもあるし、最近ないから、寂しいなって思っていて、やっぱり頭にあるのは、競技場もなのだけれども、やっぱり周りの、ブドウ屋さんで終わるのではなくて、その先こう来るといふか、ワイナリーもちょっと奥になってしまっていて、それで何か砂利道になってしまっているから、やっぱり、この駐車場で帰ろうかなみたいな部分もあるし、ワイナリーで飲めるかという、日中だし、飲めないしってなってくると、そういう流れの中という、あのエリア一体なのだなというふうにつくづく思うし、でも、いいところなのよね。本当にすばらしいと思います。

委員 うまい仕掛けをしていただくと、人が集まってくると思います。その中では本当に、環境整備の中ではトイレとか、その辺は重要なポイントかなと思いますので、ぜひともそこをやっていくことによって広がっていくのかなってつくづく思います。ぜひ活性化するように。

町長 ということで、これはよろしいですか、この件に関して、何かほかには。決められた協議、ここで、(1)の一つです。
あとはその他というところで、何か皆様方から、せっかくの会議ですから、ありましたらご発言いただければありがたいです。

教育長 1つだけ、さっきのことで質問してもいいですか。資料の中で説明があったトラックの全天候化というのは当然やることだとも思うのですが、例えば周囲の4レーンということなのですからけれども、その外側については何か意見って特に出ているのでしょうか。

生涯学習課長　　今8レーンある中で4レーンはタータン化ということなのですが、その周りは土のレーンも非常にいいのだという、優しいというのですか、足にも優しく、ぜひ土のレーンは残してほしいという意見から、4レーンという結論になったというところでございます。

教育長　　全然専門的でないので分かりませんが、そのタータンの維持管理、寿命とか考えたときに、泥と、グラベルと一緒にいいのかなって。大体陸上競技場って全てタータンで、幅跳びの砂場以外は土ってないではないですか、基本。結局それはタータンの維持管理、芝生のところもあるのかね。会津総合運動公園もありますけれども、多分土のまんまに置いて、何か寿命とか維持管理に影響ないのかなって心配があったものですから。

生涯学習課長　　そこにつきましても、やはりタータンは特に雨が降ったときに練習できるので、非常にいいというメリットもあるということで、土のところは、ある程度長距離に特化したということです。ここで8レーン全て使った大会とか、公式な大会をやるということであれば、やはり全部タータン化しなくてはならないと思うのですけれども、そこまではこの競技場、公式の大会までここで開くということは考えていないので、公認というのですか、そういうことはないのです。

教育長　　いや、全部タータンにしろということではなくて、私なんか逆にタータンなんかは2レーンでもいいと思うのですけれども、その周りで土と混在したときに何か問題は起きないのかなという、それがちょっと心配で。

生涯学習課長　　そこは、特に技術的に分けることは大丈夫だと聞いております。

政策財政課長　　維持管理とかでも問題ないのですか。

生涯学習課長　　特には大丈夫です。

委員　　汚れるのではないかとすよね。汚れてしまうとか。摩耗が激しくなるのではないかということだと思うのですけれども、ないのですね。

教育長　　品質が劣化したりとかないのかな。

町長　　摩耗が一番スパイクでできる。

委員 ウレタンで整備するという計画なので、ウレタンだと汚れる心配はありますよね。昔のゴムシートってゴムのチップが入ったやつだと、それほど汚れは目立たないのでしょうかけれども、ウレタンのタータンだとやはり。ただ、もともと400のトラックを造って整備したときに、赤土、あまり黒くならないように赤土を入れているので、どのくらい劣化しているかですけれども、もう大分黒くなっているのかもしれない。

教育長 大分黒いです。分かりました。その辺は、技術的なところでうまく相談して進めていったほうがいいのかと思いました。

町長 その他で何か特別ありませんか。

委員 前回、特別支援教育支援員さん、特別支援を要する子供への支援員を増やしていただいたので、改めて御礼を申し上げます。今後ともよろしくお願いしたいと思います。

町長 分かりました。
ほかにございますか。特別ありませんか。
なければ、協議終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

4. その他

こども教育課長 それでは、大きな4番のその他ですが、事務局からは特にございませんが、何かあればと思いますが、よろしいでしょうか。

5. 閉会

こども教育課長 それでは、以上をもちまして令和6年度第1回総合教育会議閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○閉会時刻 午後1時57分